

**製品名: SCML2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab17651**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	77kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SCML2
別名	SCML2; Sex comb on midleg-like protein 2
遺伝子 ID	10389.0
SwissProt ID	Q9UQR0
免疫原	ヒト SCML2 の内部領域から得られた合成ペプチド。

**背景**

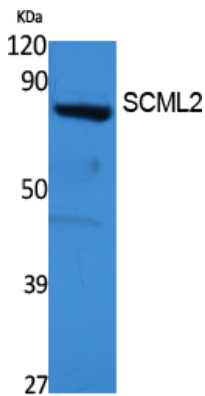
この遺伝子は、ポリコームグループタンパク質のメンバーをコードします。これらのタンパク質は、転写抑制に関与するポリコーム抑制複合体を形成します。コードされているタンパク質は、リジン残基がモノメチル化されたヒストンペプチドに結合し、発生過程

におけるホメオティック遺伝子の発現制御に関与している可能性があります。[RefSeq 提供、2010年6月]機能: 推定ポリコームグループ (PcG) タンパク質。PcG タンパク質は、発生過程を通じてホメオティック遺伝子の転写抑制状態を維持するために必要な多タンパク質複合体を形成することで作用します。、PTM: おそらく ATM または ATR による DNA 損傷時にリン酸化されます。、類似性: SCM ファミリーに属します。、類似性: 1つの SAM (無菌アルファモチーフ) ドメインを含みます。、類似性: 2つの MBT リピートを含みます。、組織特異性: 胎盤、胸腺、精巣で高発現しています。脳、肝臓、骨格筋、膵臓、卵巣で低レベルで検出されます。

## 研究分野

転写、その他の因子、エピジェネティクスと核シグナル伝達、クロマチンリモデリング、ポリコームサイレンシング

## 画像データ



SCML2 ポリクローナル抗体を使用した 293 細胞抽出物のウエスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈されました。